

meito

東証プライム市場・名証プレミア市場
証券コード：2207

中間期決算 説明資料

株式会社meito
2025年11月25日





目次

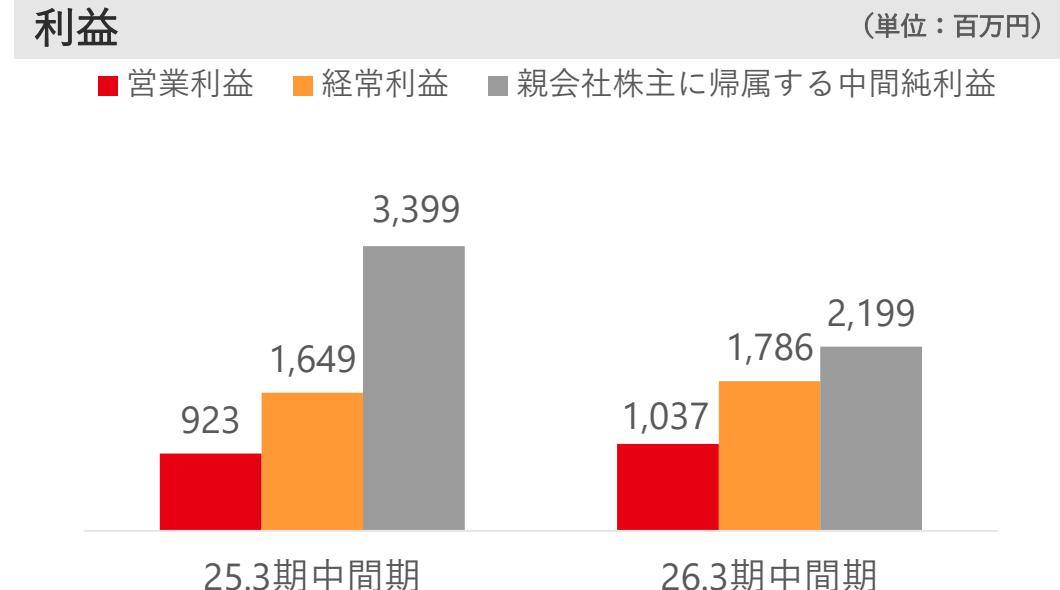
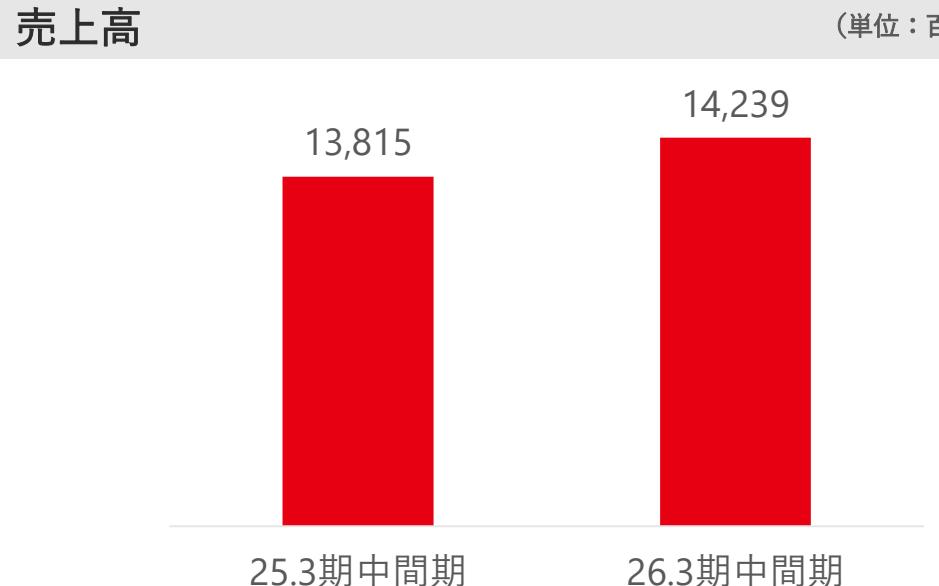
CONTENTS

- 01** | 2026年3月期 中間期決算概要 ► P. 2
- 02** | 2026年3月期 業績予想 ► P.11
- 03** | 中期経営計画進捗状況 ► P.15
- 04** | Appendix ► P.31

01

2026年3月期
中間期決算概要

- 売上高 : 前年同期比3.1%増の14,239百万円
- 営業利益 : 売上高の増加や商品の内容量変更・価格改定による売上原価率の改善などにより、12.3%増の1,037百万円
- 経常利益 : 営業利益の改善に加えて、受取配当金が増加したことなどにより、8.3%増の1,786百万円
- 中間純利益* : 投資有価証券売却益など1,419百万円を特別利益に計上したものの、35.3%減の2,199百万円
(前年同期は特別利益に投資有価証券売却益など3,098百万円を計上)

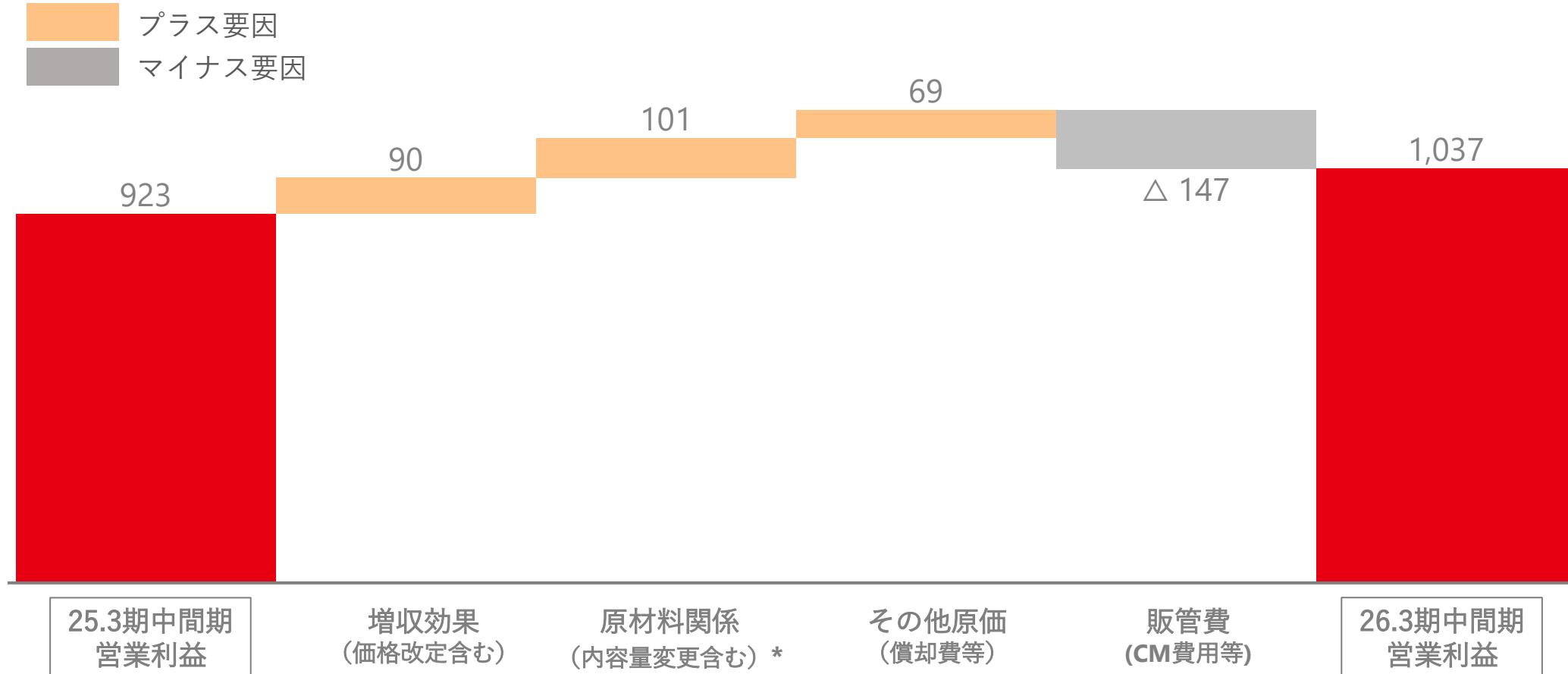


(単位：百万円)

	25.3期中間期	26.3期中間期		
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	13,815	14,239	423	3.1%
食品事業	12,006	12,269	263	2.2%
化成品事業	1,670	1,821	150	9.0%
不動産事業	138	148	9	7.2%
売上総利益	4,284	4,577	293	6.8%
売上総利益率	31.0%	32.1%	—	—
販売管理費	3,360	3,539	179	5.3%
営業利益	923	1,037	114	12.3%
営業利益率	6.7%	7.3%	—	—
受取配当金	604	773	168	128.0%
経常利益	1,649	1,786	136	8.3%
経常利益率	11.9%	12.5%	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	3,399	2,199	△1,199	△35.3%
中間純利益率	24.6%	15.4%	—	—
EPS(1株あたり中間純利益)	200.88円	129.89円	—	—

売上高の増加や過年度に実施した商品の内容量変更・価格改定の効果などにより増益

(単位：百万円)



* 原材料価格の高騰に対して、一部商品の内容量変更を実施したことによる利益改善

©2025 All rights reserved, MEITO CO., LTD.

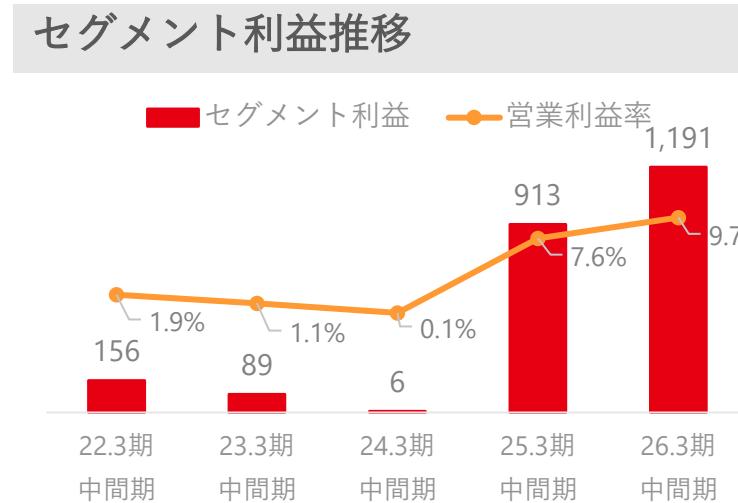
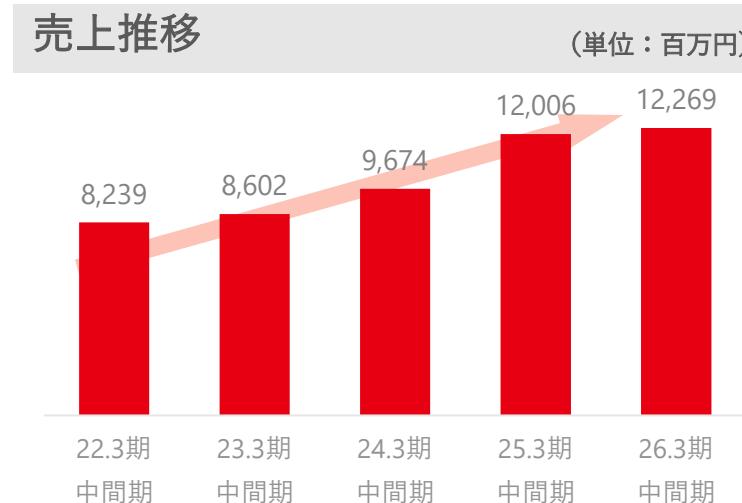
(単位：百万円)

売上高	25.3期中間期		26.3期中間期			
	実績	構成比	実績	増減額	増減比	構成比
食品事業	12,006	86.9%	12,269	263	2.2%	86.2%
化成品事業	1,670	12.1%	1,821	150	9.0%	12.8%
不動産事業	138	1.0%	148	9	7.2%	1.0%
合計	13,815	100.0%	14,239	423	3.1%	100.00%

セグメント利益	25.3期中間期		26.3期中間期			
	実績	構成比	実績	増減額	増減比	構成比
食品事業	913	64.8%	1,191	277	30.3%	71.2%
化成品事業	450	31.9%	430	△ 20	△4.5%	25.7%
不動産事業	46	3.3%	52	5	12.5%	3.1%
小計	1,410	100.0%	1,673	262	18.6%	100.0%
調整額	△ 486	-	△ 635	-	-	-
合計	923	-	1,037	114	12.3%	-

2.2%増収、30.3%営業増益

- 過年度より数回にわたって実施した商品の内容量変更・価格改定の効果などにより、大幅な増益
- 中核ブランドの販売促進プロモーションに取り組み、主力の菓子部門は若干の増収
- チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」などのファミリーサイズの商品が苦戦したことにより減収
- 子会社の株式会社エースベーカリーは、「凍らせて食べるシャーベット」などのゼリー類が大きく伸長したことにより増収
- 粉末飲料部門は、ココア類の商品の売上が好調に推移し増収
- 冷菓部門は、猛暑の影響もあり、自社商品の販売が伸び増収



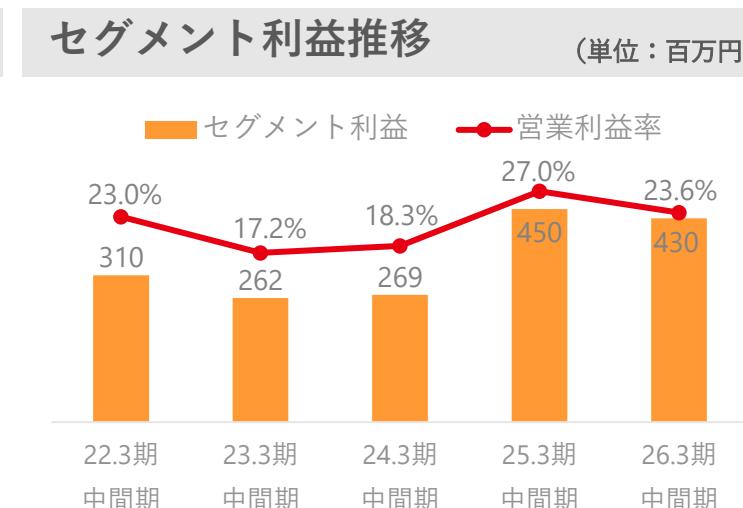
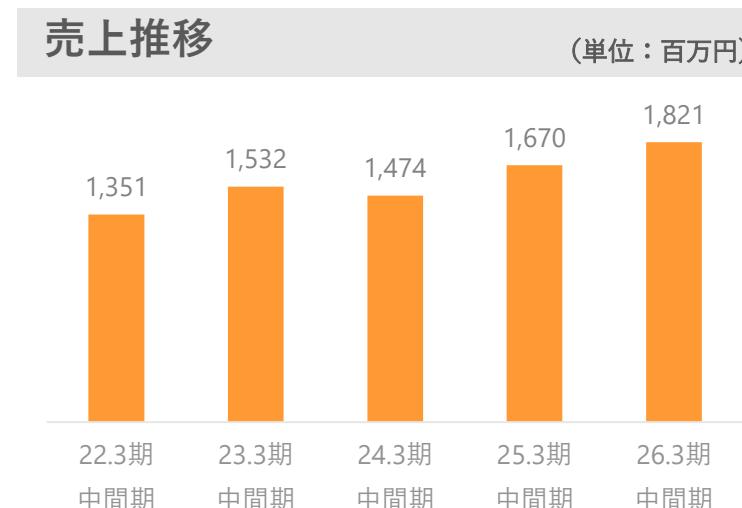
売上詳細

(単位：百万円)

	22.3期 中間期	23.3期 中間期	24.3期 中間期	25.3期 中間期	26.3期 中間期
菓子部門	6,116	6,292	7,165	9,307	9,332
粉末飲料部門	959	936	1,050	1,000	1,074
冷菓部門	1,013	1,209	1,278	1,480	1,514
その他	151	164	179	217	347
合計	8,239	8,602	9,674	12,006	12,269

9.0%増収、△4.5%営業減益

- 積極的な営業活動の推進により増収となったが、売上原価率の上昇により減益
- 酵素部門では、脂肪分解酵素「リパーゼ」が国内市場にて売上を伸ばし増収。チーズ用凝乳酵素「レンネット」も海外市場にて好調に推移し増収
- 薬品部門は、医薬品やX線フィルムなどの原料用の「デキストラン」の売上が増えたことにより増収



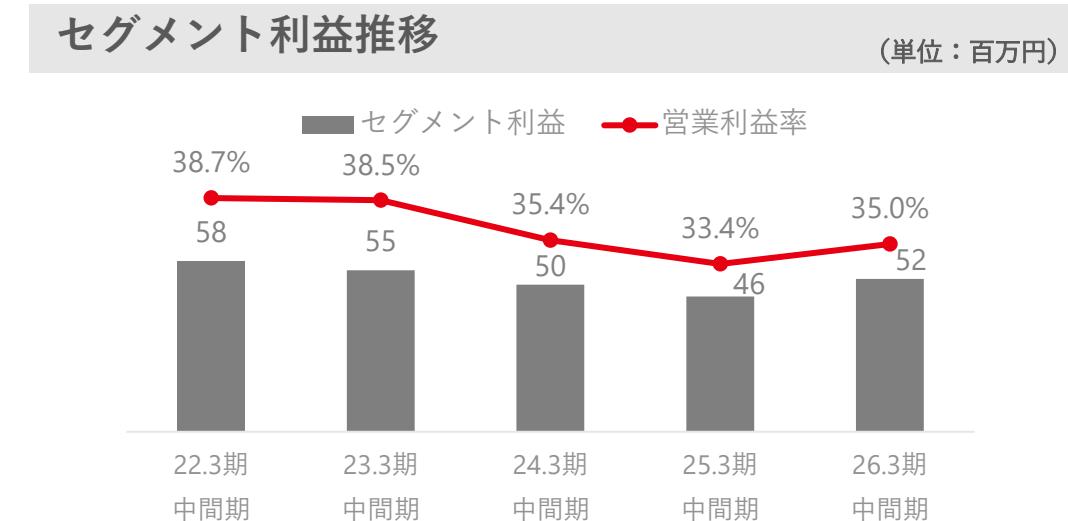
売上詳細

(単位：百万円)

	22.3期 中間期	23.3期 中間期	24.3期 中間期	25.3期 中間期	26.3期 中間期
酵素部門	764	893	836	948	1,030
薬品部門	497	537	542	628	687
その他	89	101	94	92	103
合計	1,351	1,532	1,474	1,670	1,821
海外売上	758	1,015	937	1,137	1,218

7.2%増収、12.5%営業増益

- 2025年9月に東京都の不動産を取得し、賃貸を開始したことにより、増収増益



貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

meito

貸借対照表

	(単位：百万円)		
	25.3期末 実績	26.3期中間期末 実績	増減額
流動資産	17,395	17,557	161
現預金	7,194	5,474	△ 1,719
受取手形及び売掛金	5,546	5,020	△ 525
商品及び製品	1,915	2,665	749
原材料及び貯蔵品	1,785	3,163	1,377
固定資産	65,929	78,006	12,077
有形固定資産	20,249	28,333	8,083 *1
投資有価証券	43,064	47,158	4,094 *2
流動負債	8,838	14,991	6,153
支払手形及び買掛金	2,882	3,034	151
短期借入金	-	6,929	6,929 *1
長期（1年以内）借入金	796	775	△ 21
未払法人税等	1,346	610	△ 735
固定負債	19,574	20,894	1,320
長期借入金	8,342	7,933	△ 408
繰延税金負債	8,410	9,877	1,467
純資産	54,912	59,677	4,764
負債純資産	83,325	95,563	12,238

キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)		
	25.3期中間期 実績	26.3期中間期 実績	増減額
営業CF	2,022	△ 476	△ 2,499
投資CF	2,953	△ 7,460	△ 10,414 *1
財務CF	△ 3,375	6,217	9,593 *1
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	1,600	△ 1,719	△ 3,320
期首残高	6,362	7,194	831
期末残高	7,963	5,474	△ 2,489

*1 不動産事業等にて土地を取得。取得した土地の支払により借入を実施

*2 保有する株式の株価の上昇

02

2026年3月期
業績予想

(単位：百万円)

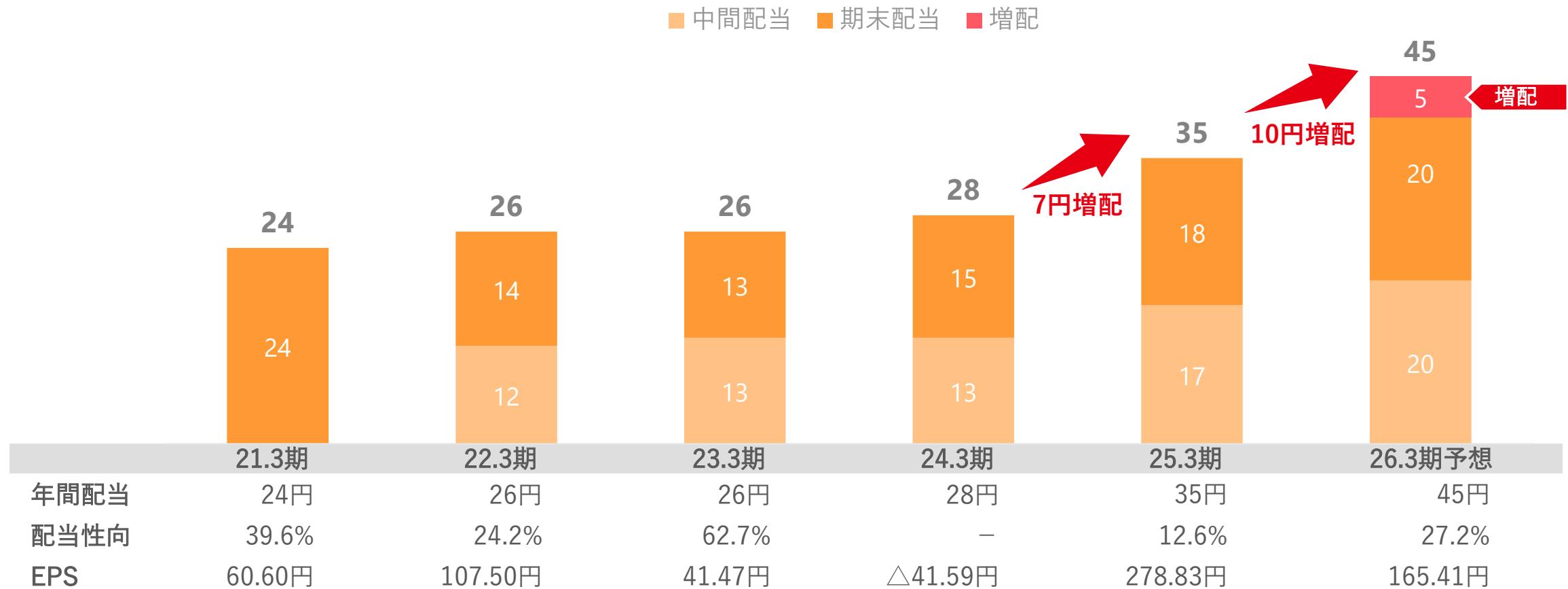
	25.3期 実績	26.3期			
		期初予想	修正予想	増減額	増減比
売上高	28,071	29,500	29,500	1,428	5.1%
営業利益	1,405	1,600	1,600	194	13.8%
営業利益率	5.0%	5.4%	5.4%		
経常利益	2,671	2,800	2,800	128	4.8%
経常利益率	9.5%	9.5%	9.5%		
親会社株主に帰属する当期純利益	4,719	2,000	2,800	△1,919	△40.7%
当期純利益率	16.8%	6.8%	9.5%		
EPS（1株当たり当期純利益）	278.83円	118.15円	165.41円	—	—
1株配当	35円	40円	45円	—	—
配当性向	12.6%	33.9%	27.2%	—	—

売上高	(単位：百万円)					
	25.3期		26.3期			
	実績	構成比	予想	増減額	増減比	構成比
食品事業	24,405	86.9%	25,800	1,394	5.7%	87.5%
化成品事業	3,389	12.1%	3,400	10	0.3%	11.5%
不動産事業	276	1.0%	300	23	8.5%	1.0%
合計	28,071	100.0%	29,500	1,428	5.1%	100.0%

年間配当金は中間配当20円と合わせて45円を予定。期末配当金は前回予想から5円増配し、1株当たり25円

1株当たり配当金及び配当性向の推移

* 2022年3月期より中間配当を実施



03

中期経営計画
進捗状況

MEITO CHALLENGE 2026

スローガン

Challenge for the future

未来を創造する挑戦

コンセプト

- ・持続的な成長に資するバックキャスト思考
- ・事業ポートフォリオの最適化に向けた戦略の推進
- ・人的資本、資本コスト・株価を意識した経営の強化

成長戦略

生産戦略

販売戦略

組織・人事戦略

財務戦略

中期経営計画「MEITO CHALLENGE 2026」—経営目標

meito

- 2025年3月期を初年度とする3ヵ年計画である中期経営計画は2年目を迎えている
- 2027年3月期の経営目標達成に向け、売上・利益面ともに堅調に推移

27.3期経営目標

売上高
300億円

営業利益
18.0億円

経常利益
30.0億円

ROE
5.0%以上

PBR
1.0倍

25.3期実績

	MC 2023		MEITO CHALLENGE 2026			
	24.3期	25.3期			26.3期	27.3期
	実績	計画 (2024年5月公表)	実績	前期比	計画 (2024年5月公表)	計画 (2024年5月公表)
売上高	244億円	280億円	280億円	+15.1%	290億円	300億円
営業利益	2.3億円	8.0億円	14.0億円	+505.7%	13.0億円	18.0億円
経常利益	14.3億円	20.0億円	26.7億円	+86.8%	25.0億円	30.0億円
ROE	△1.5%	—	8.9%	—	—	5.0%以上
PBR	0.6倍	—	0.6倍	—	—	1.0倍

■ 経営目標達成を目指し、4つの成長戦略に取り組む

■ 2025年10月14日、財務戦略方針を修正

販売戦略

食品事業

- 中核ブランドの売上拡大
- グループ会社と連携した新需要創造

化成品事業

- 世界市場でのプロモーション強化
- 新規用途開発による新規顧客獲得

生産戦略

食品事業

- スマートファクトリー化推進
- 増産体制の確立

化成品事業

- 厳格化する品質要求への対応と生産性の向上

組織・人事戦略

- 組織再構築とコミュニケーション促進
- 人的資本強化のための教育・リスキリング、ダイバーシティ推進

財務戦略

- 事業ポートフォリオの最適化（ROEの向上）
- 自己株式取得・消却、累進配当等による資本効率の向上および株主還元の強化 ※25.10.14修正

販売戦略

成長戦略

食品事業

- 中核ブランドへの戦略的な経営資源投入による売上拡大
- グループ会社間のシナジー強化を含む新需要の創造

化成品事業

- 高付加価値製品の世界市場でのプロモーション強化（グローバルニッチトップの維持）
- 新規用途開発による新規顧客獲得

生産戦略

食品事業

- 安全・品質・生産の向上に直結するDX化（スマートファクトリー化）
- 設備投資・増員及び予知予防保全による増産体制の確立

化成品事業

- 製造技術・プロセスの最適化及び設備増強、増員による厳格化する品質要求への対応と生産性の向上

組織戦略

- 組織力向上のための組織再構築、コミュニケーション促進（課題解決プロジェクト発足、グループ会社間交流）
- 人的資本強化のための教育・リスキリングの充実（拡充）及びダイバーシティ推進

財務戦略

- 経営資源の再配分による事業ポートフォリオの最適化（ROEの向上）
- 自己株式取得・消却、累進配当等による資本効率の向上および株主還元の強化



2026年3月期上期進捗状況

食品事業

- 中核ブランド認知度向上、売上拡大を目的として、テレビCM、ラジオCM、SNS広告、プレゼントキャンペーンを実施
- おいもや社監修の新商品（アルファベットチョコ「安納芋」、ふくふくたい「やきいも味」）発売

化成品事業

- 各種リパーゼ類のEU食品添加物酵素ポジティブリスト登録申請の継続
- 化粧品用途でのリパーゼ、デキストラン誘導体の国内外プロモーションのため、国内外の化粧品関連展示会に出演

食品事業

- 生産統合工程システムの要件定義完了
- 瀬戸・小牧・福岡各工場にて生産性向上のための設備投資

化成品事業

- アルデヒドデキストラン（AD）の新規製造設備完成
- 名古屋研究所、枇杷島工場の品質マネジメント規格：ISO 9001認証取得準備（ギャップ診断）

- (株)ピーシーエスと連携し、グループ全体の情報システム体制強化に関する協議・検討を実施した。
- 幅広い年齢層の女性を中心とした人権ダイバーシティ分科会を発足し、女性管理職比率向上およびエンゲージメント向上策の検討開始
- 経営リーダー育成に向けた研修を開始

- 不動産事業における長期的かつ安定した収益基盤の構築のため、東京都の土地を購入し（総額60億円）、地元スーパーに賃貸開始
- 株主構成の最適化、資本効率の改善、株主還元の強化を目的とする三位一体の資本政策として株式の売り出し、自己株式取得・消却、増配の検討

■ CMやSNSを活用したプロモーションを積極的に展開、ブランド認知度強化・売上拡大を推進



テレビCM

5月～
ふくふくたい



10月～

ナツコレクション



11月～
アルファベット
チョコレート



定番導入を狙う

KPI：主力4ブランド定番導入店舗増加率（社内調査）

アルファベットチョコレート	12.0%増（前年同期比）
ふくふくたい	14.8%増（〃）
レモンティー	0.6%増（〃）
スティックメイト	16.5%増（〃）



SNS

80周年記念第3弾



インバウンド向け



JAPANKURU記事広告より

新たな顧客層の開拓

- ・日本の旅情報サイトである「JAPANKURU」（5カ国語）に記事広告を掲載
- ・台湾の人気№1旅行ガイドブックの「完全制覇」に広告出稿
- ・海外インフルエンサーによるPR

KPI：関連サイトリーチ数

500万リーチ獲得（目標150万リーチ）

(記事・SNS・動画を多言語で展開しており、その関連サイトでのリーチ数の合計です)

秋冬ラインナップ

菓子部門

チョコレート

発売55周年

アルファベットチョコレート



ロゴをリニューアル!



家族やお友達と一緒に!
たっぷりお得なビッグパック

ザクザク
ドームチョコ



こそっと
グラノーラチョコ
アップル&アーモンド



ナツ
チョコレート
コレクション



おいもやと
コラボ

アルファベット
チョコレート安納芋



ふくふくたい
やきいも



冷菓部門

黒みつきなこ棒



国産きな粉を使用
したねっちり食感
のアイス

粉末飲料部門

スティックメイトシリーズ

ルイボスティーアソート

ノーマル、はちみつ、アップル、ジンジャーの4種類のルイボスの詰め合わせ



ティーラテアソート

既存の紅茶・ほうじ茶・抹茶の3種に新たに“はちみつラテ”を追加。

ロイヤルミルクティー



紅茶の深みとミルクのまろ
やかさがより際立つ風味に
リニューアル

秋冬ラインナップ

厚切りバウムクーヘン



リニューアル

愛されている味を
守りつつ、しっと
りとした食感とコ
クのある風味に

チョコレート味

大人も子供も食べやす
い、ミルク感のある
チョコレート味のバウ
ムクーヘン



エースペーカリー

蒟蒻ゼリー

期間限定商品

カフェラテ



いちごラテ



チョコがけバウムクーヘン

キャラメルチョコ



濃厚なキャラメルの味わいの
バウムクーヘンに、meitoの
ミルク感たっぷりのチョコ
レーントをコーティング

化成品事業

デキストラン誘導体の化粧品用途への展開

取組み

- ・ デキストラン硫酸ナトリウム (DST-H) の 血流改善や育毛効果を期待する頭皮ケア分野へのプロモーション強化
- ・ 毛髪や皮膚に対して優れたコンディショニング効果を発揮するカオチン化デキストラン (CDC) 、増粘剤でありながら高い保湿力が期待できるカルボキシメチルデキストランNa (CMD) などの国内外でのプロモーション強化
- ・ 化粧品関連展示会 5月 CITE JAPAN (横浜) 、7月 in-cosmetics Korea 2025 (韓国) 、9月 COSMR Tech 2025 (大阪) に出展

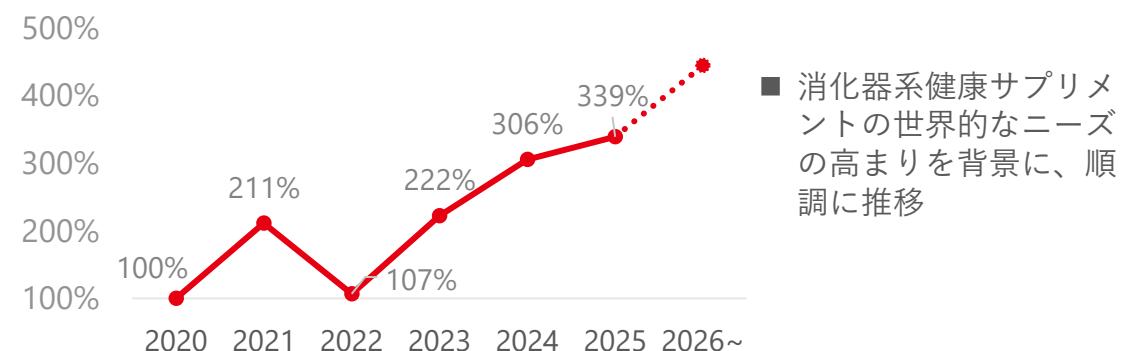
成果

- ・ 国内大手製薬会社にてスキンケア用途のデキストラン誘導体製品の採用決定
- ・ 韓国コスメ5社にて処方試験実施中、個別訪問し拡売を実施
- ・ ドイツのメイクアップ製品メーカーからもCMDの引き合いあり

世界市場へのプロモーション強化

- ・ デキストラン誘導体製品のライフサイエンス分野での新規用途開拓
- ・ 特殊デキストラン誘導体の開発
- ・ 顧客ニーズに対応するための新規設備導入 (AD設備、DS第2工場)
- ・ 各種リパーゼ類のEU食品添加物酵素ポジティブリスト登録申請の継続
- ・ リパーゼ OFの GRAS手続きが完了し「GRAS Notice Inventory」に掲載

当社の米国・サプリメント用途リパーゼ類の販売実績



■ カカオ原料高騰に対する取組みの推進

カカオ豆相場高騰への対応は継続

✓ カカオ豆調達先の追加

- ・ カカオ豆高騰の影響が続いている、不安定な状況が続いている
- ・ 現状、相場は下がってきているものの、需給バランスの崩れは未だ改善されず、ココア相場の乱高下が今後も続くと予想される
- ・ 対策として複数の産地のカカオ豆を購入し、商品の原料として使用を開始している



前期に実施した価格改定および内容量変更後の対応

✓ チョコレート製品の売上増に向けた取組みを推進

- ・ カカオ豆の高騰に伴い、チョコレートの消費者物価指数も上昇している。
- ・ 前期実施した価格改定および内容量変更により、収益性は改善している。
- ・ また、主力商品である「アルファベットチョコレート」や「ナッツチョコレートコレクション」について、パーティーパックやビッグパックなどお得感のあるさまざまな形態の商品を展開し、お客様のニーズに対応している。



出典：総務省 消費者物価指数

- 創立80周年を迎え、9月1日に社名を変更
- 記念事業の一環として、各種プロモーションを展開

俳優の武井咲氏を起用した企業CMの全国放映開始



- CMには本社所在地である愛知県出身の武井氏を起用
- 人々に寄り添い、笑顔を生み出す当社の企業姿勢を伝えるとともに、刷新したmeitoのロゴエレメントを画面フレームとして活用
- 放映開始日：2025年9月1日（月）
- 放映地域：全国

その他の広告展開

- 9月1日新聞広告
- 9月からYouTubeやTVerなどWEB広告
- 10月から都市部を中心にバス停のシティースケープ
- 11月から東京、名古屋、大阪、福岡の4都市で交通広告の展開を予定

全国ポップアップイベント

「アルファベットチョコレート」の新たな魅力を発信する体験型イベント『iのあるアルファベットチョコレート』を、全国4都市で順次開催



フォトスポット



※画像はイメージです。

オリジナル
キッチンカー

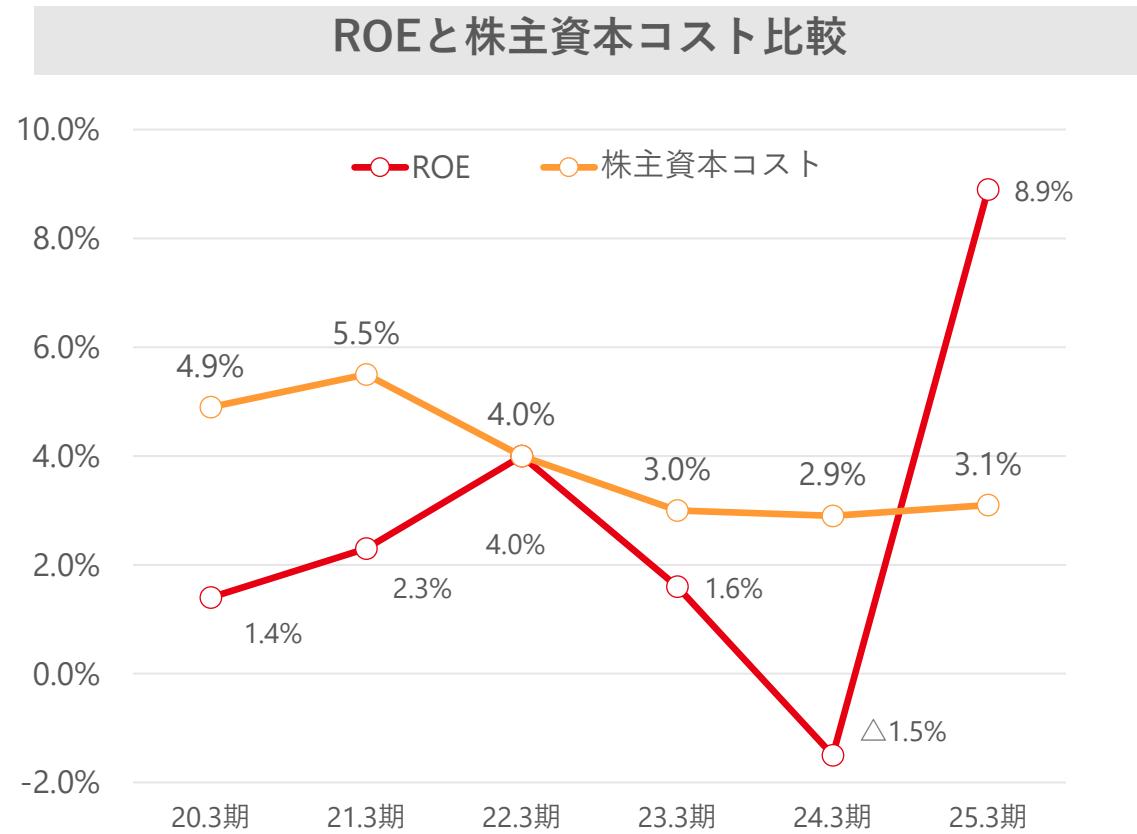
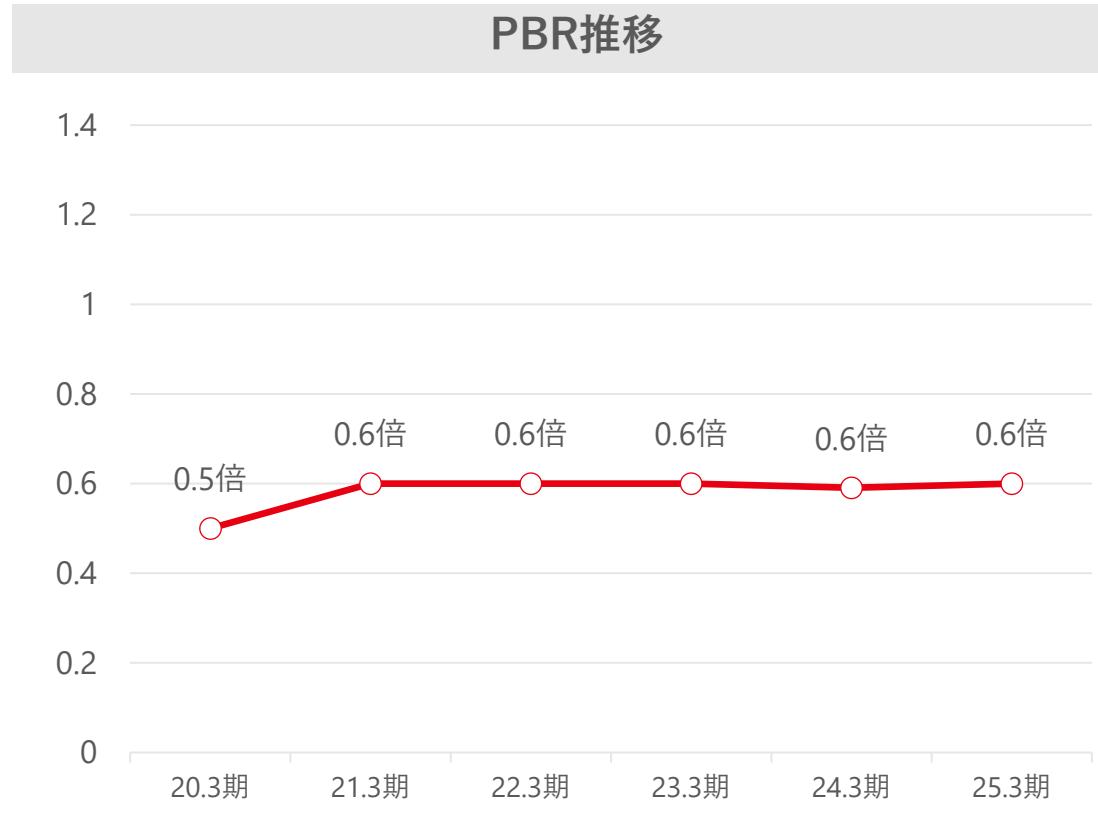
限定商品と特別企画（例）

- 世界に一つの“言葉のギフト”「アルファベットチョコレート」
- 13種類の限定フレーバー
「iのあるアルファベットチョコレート」
- 生活の中にアルチョコ（グッズ関連）

<スケジュール> 各都市で9日間開催

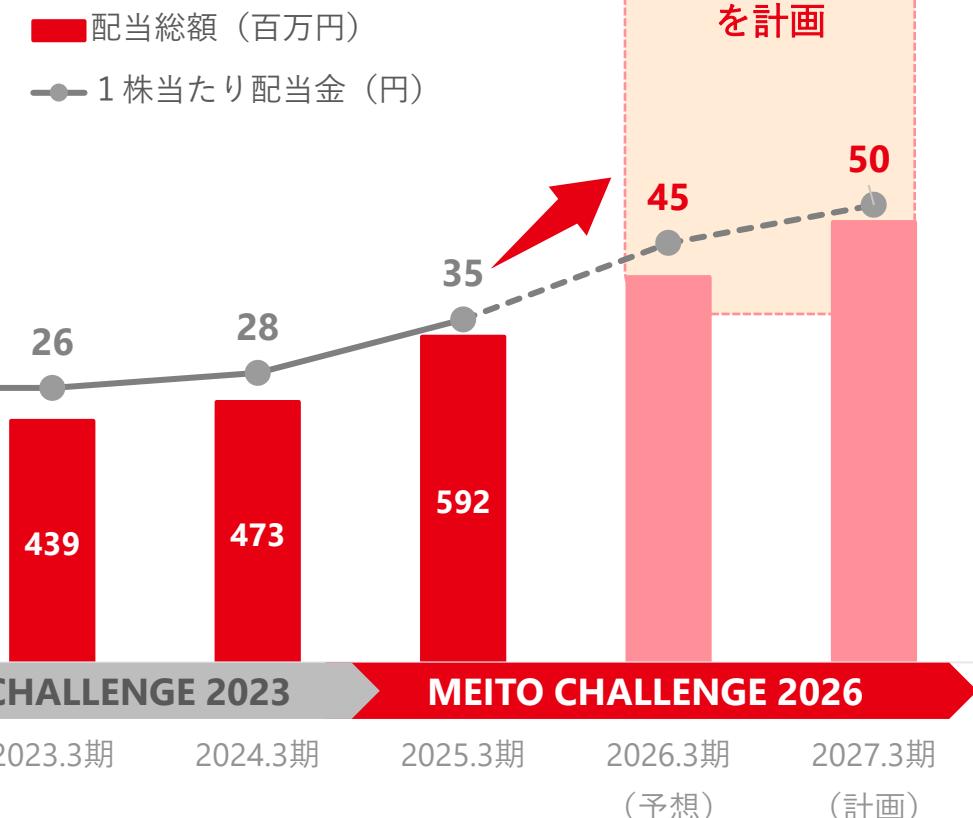
東京	渋谷キャスト ガーデン	東京都渋谷区	11月29日(土)より
福岡	キャナルシティ博多	福岡市博多区	12月13日(土)より
大阪	Hoop	大阪市阿倍野区	1月10日(土)より
名古屋	JRゲートタワーイベントスペース	名古屋市中村区	1月31日(土)より

■ 課題は①収益力の向上と資本効率の改善、②継続的かつ安定的な株主還元

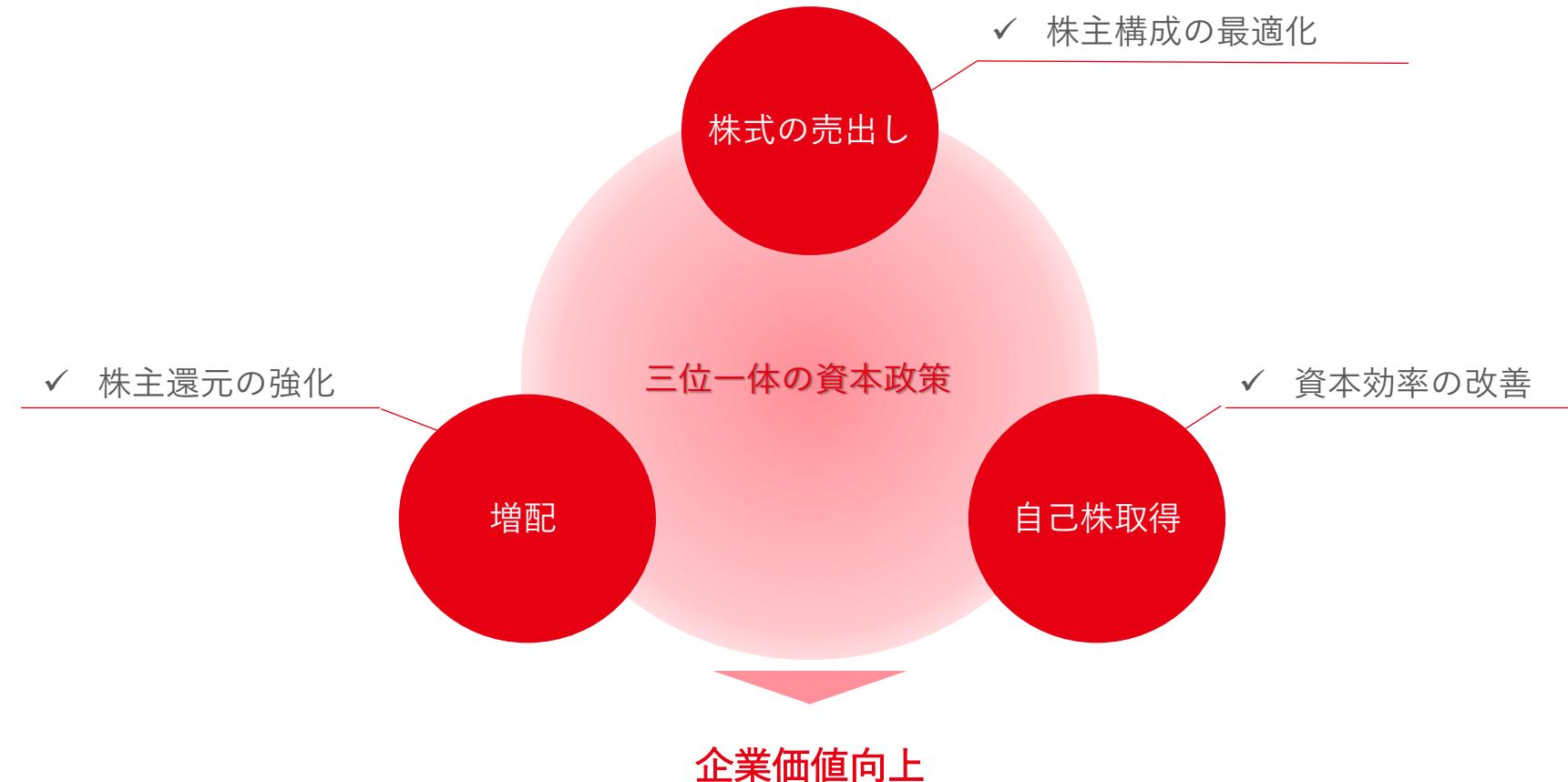


- さらなる資本効率の改善と株主価値の向上に向け、財務戦略を修正
- 増配や株主優待の拡充に加え、自己株式の取得・消却を実施する

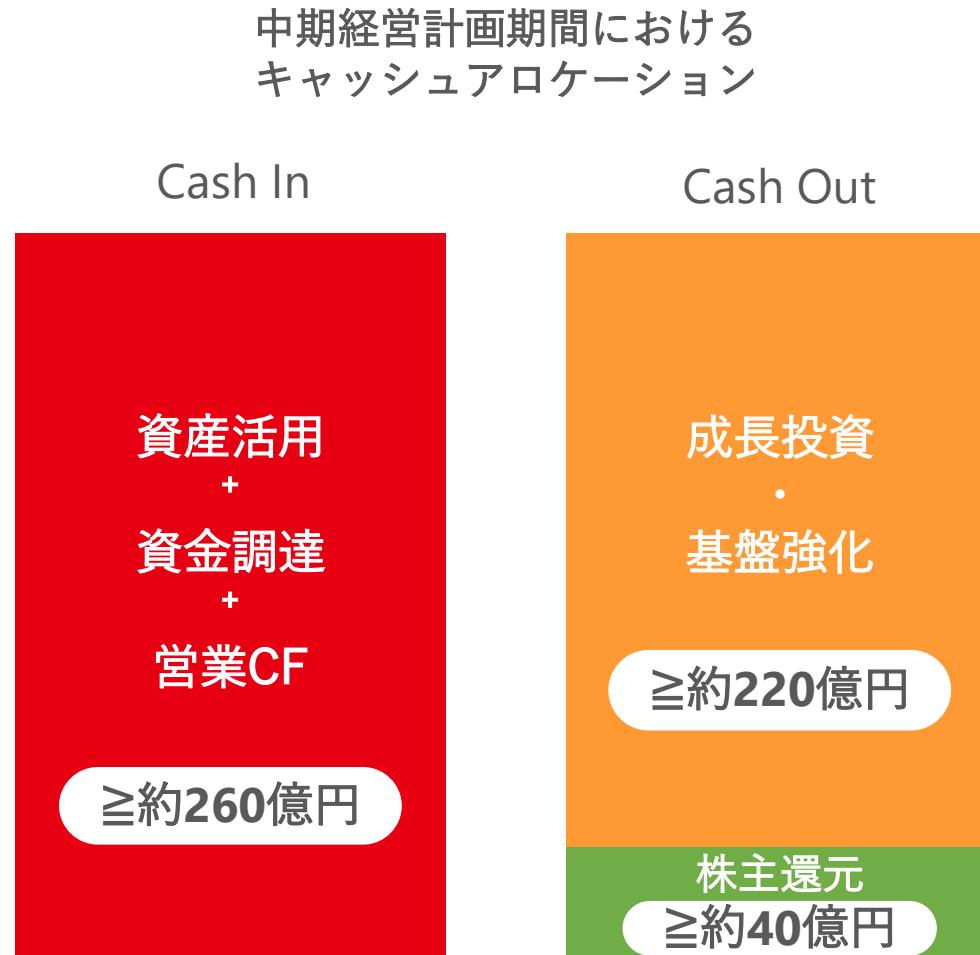
資本効率向上・株主還元強化に向けた取り組み	
(累進配当)	
当社は将来に向けた成長投資を行い、収益力の向上と資本効率の改善を図りつつ、株主の皆様に対しては安定的な配当を維持継続することを利益配分の基本とし、累進配当を継続して実施する方針。	
※ 中期経営計画における配当金に関する経営指標（KPI）を、2026年3月期（予想）45円、2027年3月期（計画）50円へ見直し	
(自己株式取得・消却)	
<ul style="list-style-type: none"> ・株主価値の向上及び資本効率の改善を目的として実施。 ・2027年3月31日までに総額20億円を実施予定。取得後は全数消却する予定。 	



- 資本効率改善に向け、株式売出しを決定
- 自己株式取得・増配と連動させることで三位一体の資本政策として、株主還元の充実および企業価値の向上を目指す



■ 成長投資・株主還元に必要な資金に関しては、政策保有株式の縮減に取り組みながら、資本効率の改善を図る



資産活用・資金調達

- ・ 借入による資金調達。借入の返済については、政策保有株式を売却
(上期にて政策保有株式の売却を実施 15億円)

成長投資（すでに決定している投資案件）

食品事業

- ・ ゼリー工場建設：77億円
「凍らせて食べるシャーベット」等の増産に向け、子会社エースベーカリーのゼリー工場を新設（土地取得を含む）

化成品事業

- ・ 枇杷島工場建設：38億円
化成品事業の主力製品の一つである「デキストラン硫酸ナトリウム」の増産に向け工場を新設（既存工場敷地内）

不動産事業

- ・ 賃貸用不動産の取得：62億円
東京都に土地を取得し、賃貸開始

基盤強化

- ・ 設備投資、経営基盤投資：3年合計で≥43億円

株主還元

- ・ 上限20億円の自己株式を取得・消却
- ・ 累進配当の実施（3年合計で≥20億円）

2025年3月期 35円、2026年3月期（予想）45円、2027年3月期（計画）50円

販売戦略

食品事業

- 全国主要都市（東京、名古屋、大阪、福岡）でPOPUPイベントの実施。テーマは「i（アイ）あるアルファベットチョコレート」
- 特別アルファベットチョコレートのEC販売（おいもや社のEC事業におけるノウハウを活用）
- 企業ブランドと「アルファベットチョコレート」ブランドの相互認知を高め、両ブランド価値の向上を目的としたテレビCM実施

化成品事業

- 各種リパーゼ類のEU食品添加物酵素ポジティブリスト登録申請の継続
- 化粧品用途でのリパーゼ・デキストラン誘導体における販促活動の継続（国内展示会出展や海外顧客への販売強化）

生産戦略

食品事業

- 生産統合工程システムの試験運用を開始
- 上期に続き、瀬戸・名古屋・小牧・福岡各工場にて包装ライン等の設備を導入・更新し、作業効率の改善および工数削減を図る

化成品事業

- 枇杷島工場DS第二工場の建設開始
- 名古屋研究所、枇杷島工場の品質マネジメント規格：ISO 9001認証取得準備（ギャップ診断を受け認証取得に向けた課題対応）

組織戦略

- グループ会社であるエースベーカリー、おいもやと共同でメニューを開発し、ポップアップイベントを開催
- 人権ダイバーシティ部会分科会にて、エンゲージメント向上、女性管理職比率向上に向けた取り組みを決定、実施する

財務戦略

- 資本効率の改善、株主還元の強化を目的として、自己株式取得・消却総額20億円と累進配当金額の修正を決定し、中期経営計画の財務戦略修正を発表
- 株主構成の最適化と政策保有株式縮減を目的とした株式売出しを実施

04 | Appendix

(2025年3月末)

社名	株式会社meito (MEITO CO., LTD.)													
本社	愛知県名古屋市西区笹塚町二丁目41番地													
代表者	代表取締役社長 三矢 益夫													
設立	1945年2月													
資本金	13億3,519万円													
証券コード	2207 (東京証券取引所 プライム市場、名古屋証券取引所 プレミア市場)													
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医薬品、医薬部外品、医療用具、動物用医薬品、化粧品、その他化成品の製造及び販売 ■ 菓子、飲料、調味食品、食品添加物、その他食品の製造及び販売 ■ ゴルフ場の建設・経営 ■ 不動産の賃貸 ■ 前各号に関連及び付随する一切の事業 													
主要な連結子会社	<table> <tbody> <tr> <td>株式会社エースベーカリー (愛知県小牧市)</td> <td>- バウムクーヘン・ゼリーの製造・販売</td> </tr> <tr> <td>名糖乳業株式会社 (福岡県飯塚市)</td> <td>- 冷菓の製造・販売</td> </tr> <tr> <td>プリンスゴルフ株式会社 (福岡県宮若市)</td> <td>- パブリックゴルフ場</td> </tr> <tr> <td>株式会社ピーシーエス (愛知県名古屋市)</td> <td>- ソフトウェアの開発販売</td> </tr> <tr> <td>株式会社おいもや (静岡県掛川市)</td> <td>- さつまいも菓子・スイーツの通販等</td> </tr> <tr> <td>株式会社平松商店 (静岡県掛川市)</td> <td>- 干し芋及び焼き芋の製造販売</td> </tr> </tbody> </table>		株式会社エースベーカリー (愛知県小牧市)	- バウムクーヘン・ゼリーの製造・販売	名糖乳業株式会社 (福岡県飯塚市)	- 冷菓の製造・販売	プリンスゴルフ株式会社 (福岡県宮若市)	- パブリックゴルフ場	株式会社ピーシーエス (愛知県名古屋市)	- ソフトウェアの開発販売	株式会社おいもや (静岡県掛川市)	- さつまいも菓子・スイーツの通販等	株式会社平松商店 (静岡県掛川市)	- 干し芋及び焼き芋の製造販売
株式会社エースベーカリー (愛知県小牧市)	- バウムクーヘン・ゼリーの製造・販売													
名糖乳業株式会社 (福岡県飯塚市)	- 冷菓の製造・販売													
プリンスゴルフ株式会社 (福岡県宮若市)	- パブリックゴルフ場													
株式会社ピーシーエス (愛知県名古屋市)	- ソフトウェアの開発販売													
株式会社おいもや (静岡県掛川市)	- さつまいも菓子・スイーツの通販等													
株式会社平松商店 (静岡県掛川市)	- 干し芋及び焼き芋の製造販売													
持分法適用関連会社	名糖アダムス株式会社 (愛知県清須市) - チューインガムの製造													
従業員数 (2025年3月期末)	連結：627名 単体：391名													



「カラダもココロも豊かで楽しい毎日に」

わたしたちはおいしさ・楽しさ・健康を追求し、食品と化成品を通じて世界中の人々を笑顔にしていきます。



① お客様重視の経営

迅速、確実な仕事とたゆまぬ
創意工夫に基づく独自性のある経営

③ 人間性を尊重し、能力、意欲を
最大限に発揮する活力ある経営

企業行動憲章

1 — 安全・安心で高品質な商品の提供

私たちは、おいしさ、たのしさ、健康を追求し、お客様にとって安全・安心で、高品質な商品やサービスを提供します。

2 — 法令等の遵守と公正・透明な事業活動

私たちは、国内外の法令・社内規則を遵守し、社会的良識をもって行動します。また、自由競争に基づく公正・透明な事業活動を行います。

3 — 社会とのコミュニケーション

私たちは、広く社会とのコミュニケーションをはかり、企業情報を正確かつ公正に適時開示します。

4 — 情報管理

私たちは、業務上知りえた機密情報・個人情報を厳重に管理し、不正使用は行いません。

5 — 環境保全

私たちは、環境保全・省資源・省エネルギーに取組み、環境にやさしい事業活動を進めます。

6 — 社会貢献

私たちは、よき企業市民として社会の経済・文化発展に貢献します。

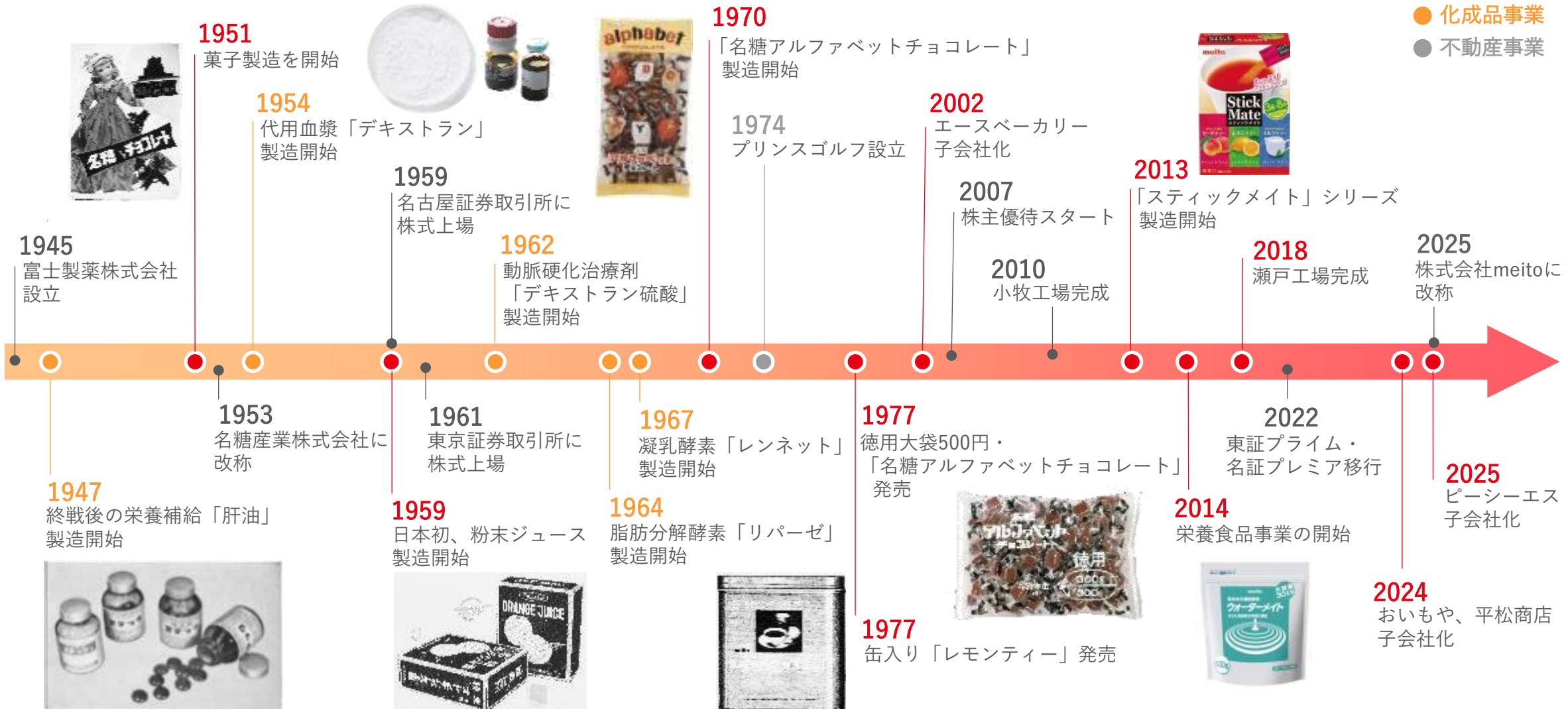
7 — 働きやすい職場環境

私たちは、人間性を尊重し、健康的で安全な働きやすい職場環境を確保します。

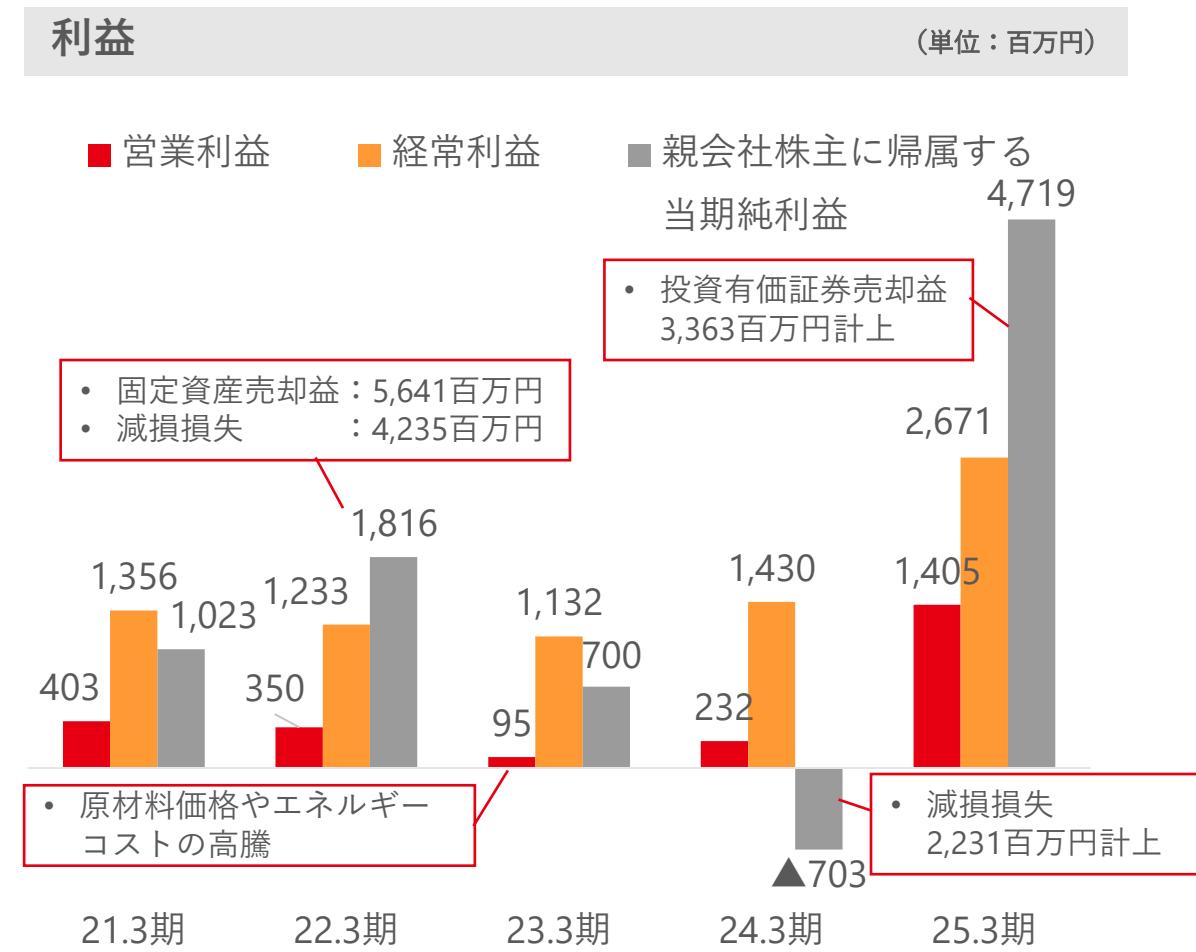
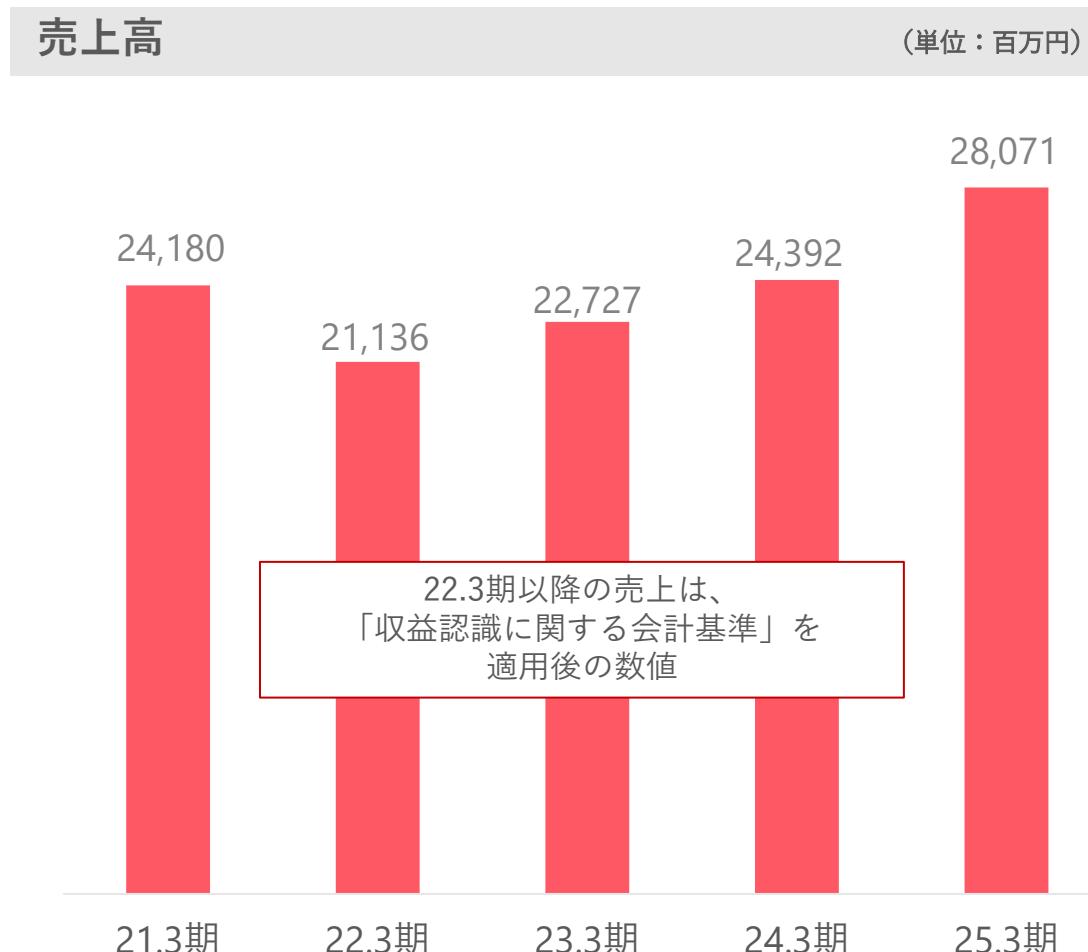
8 — 新しい技術への挑戦

私たちは、常に新しい技術に挑戦し、お客様の満足が得られる商品作りを目指します。

■ 1970年代までに構築した事業基盤を礎に、さらなる飛躍に向けた挑戦へ



コロナ禍や原材料高騰による事業環境の変化に対応し、収益を確保

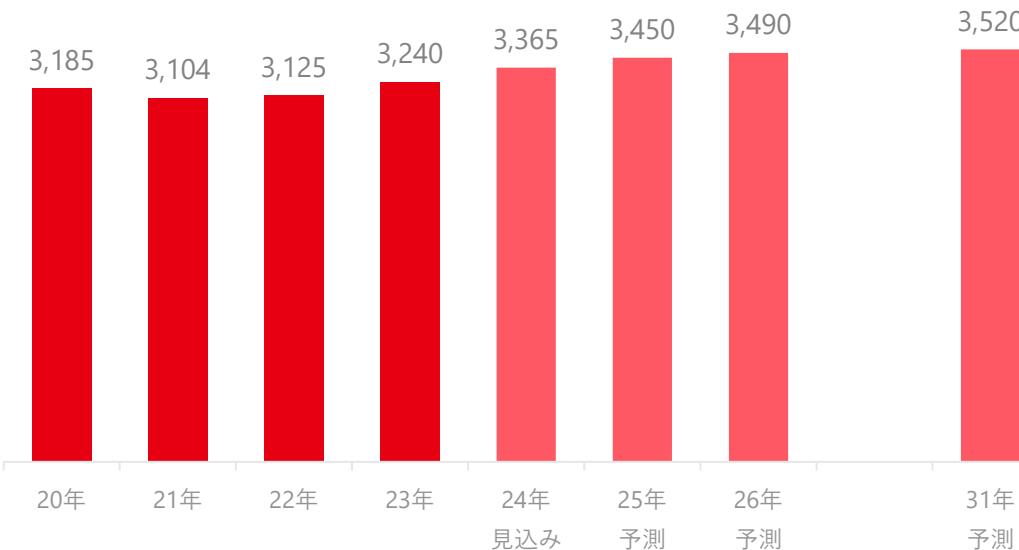


※25.3期より、おいもやと平松商店の売上、利益を含む。

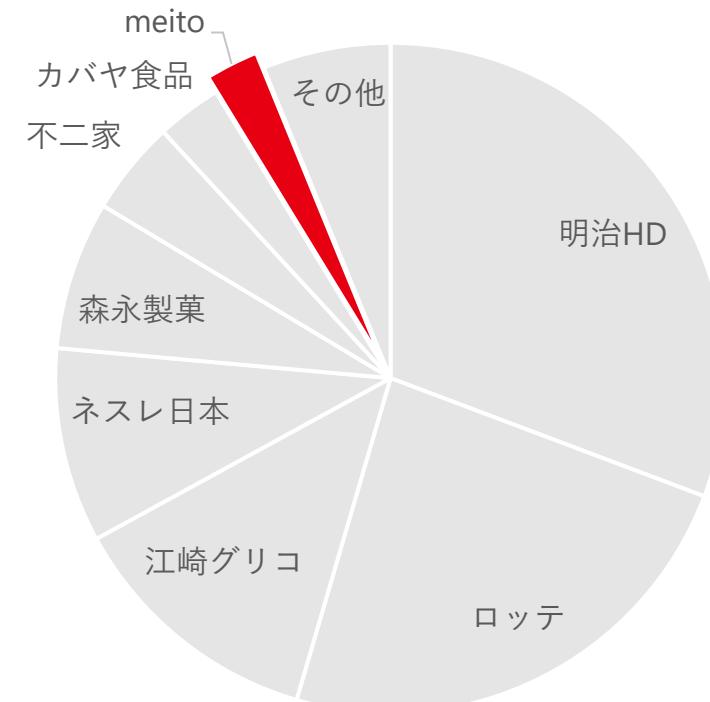
日本のチョコレート市場は2031年に向けて堅調に推移すると予測

日本のチョコレート販売額（億円）

- 2023年はインバウンド需要が回復。価格改定の実施により販売量が減少したが、販売額では前年を上回り着地
- 2024年は、カカオ豆高騰と輸入量減少による供給面の不安もみられるが、販売額ベースでは前年を上回る見込み

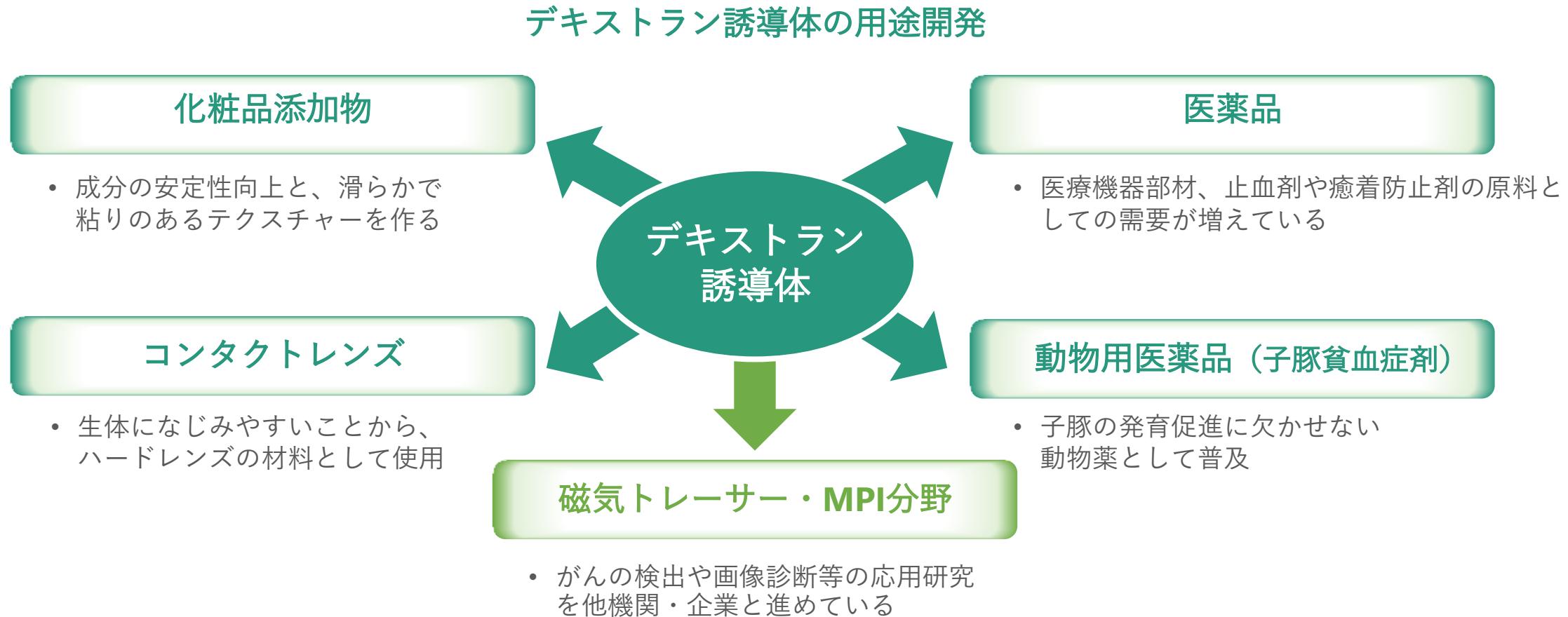


販売額ベースのシェア

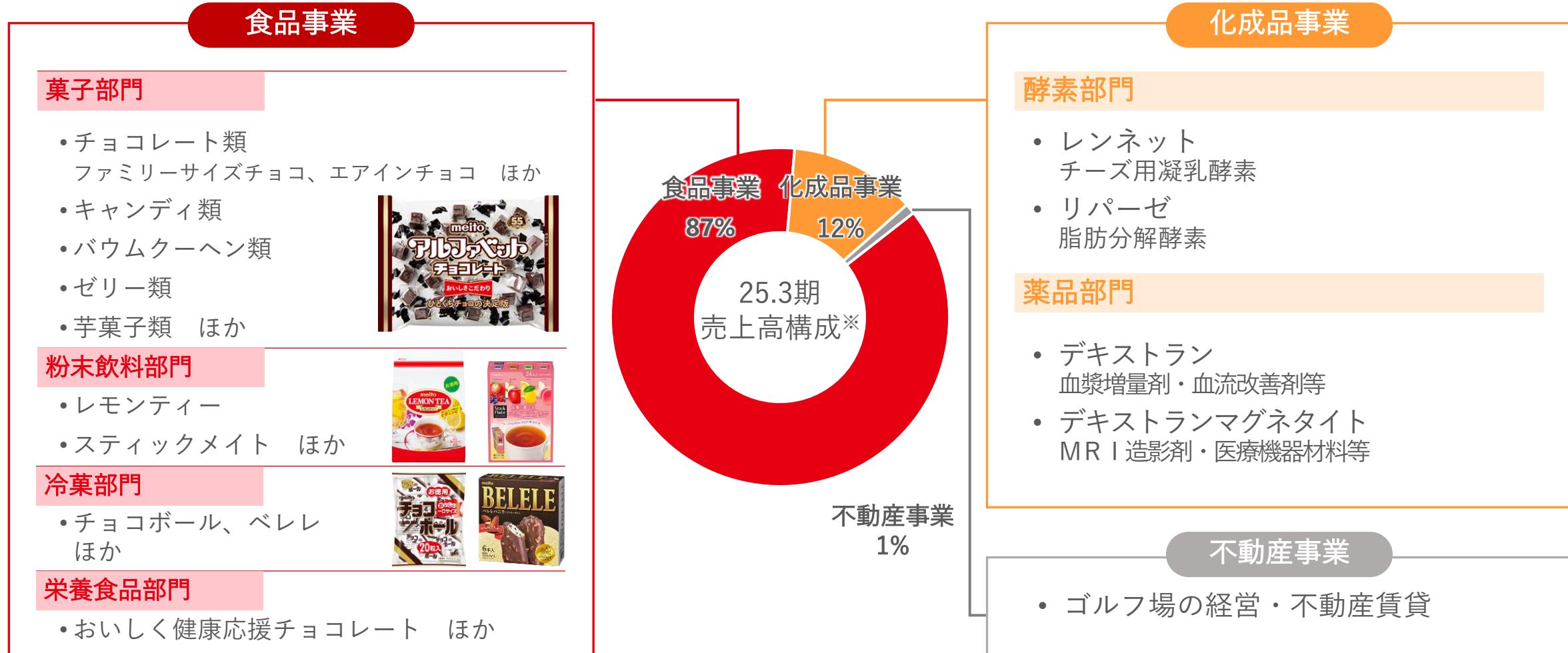


出所) 富士経済「2025年 食品マーケティング便覧」より当社作成
* 販売額はメーカー出荷ベース
* 他社数値は2024年見込み、当社売上は24.3期実績

■ デキストラン誘導体の用途開発による潜在成長性



■ チョコレートを始めとする食品事業と化成品事業を主力とする



拠点・グループ

meito

■ 全国の営業・生産・研究開発拠点が連携し、meitoの理念を実践

■ 本社
■ 支店 4カ所
■ 化成品営業部
▲ 研究所／食品開発部 5カ所
■ 工場 6カ所
■ 主要な子会社 5カ所



八王子工場

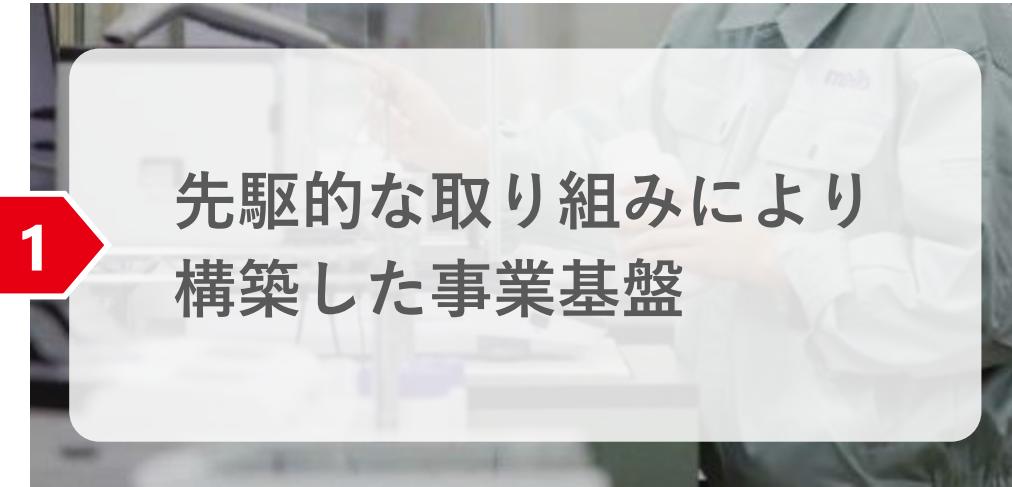
瀬戸工場

小牧工場

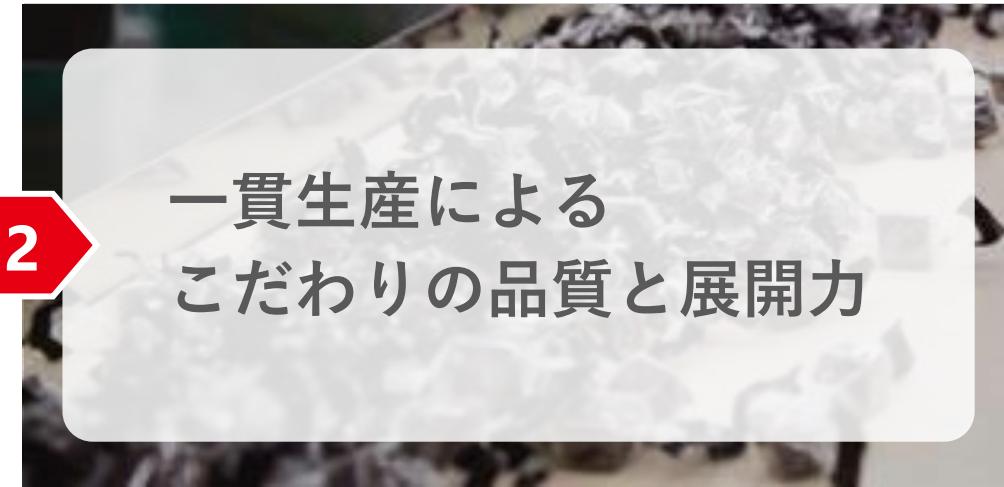
名古屋工場

枇杷島工場

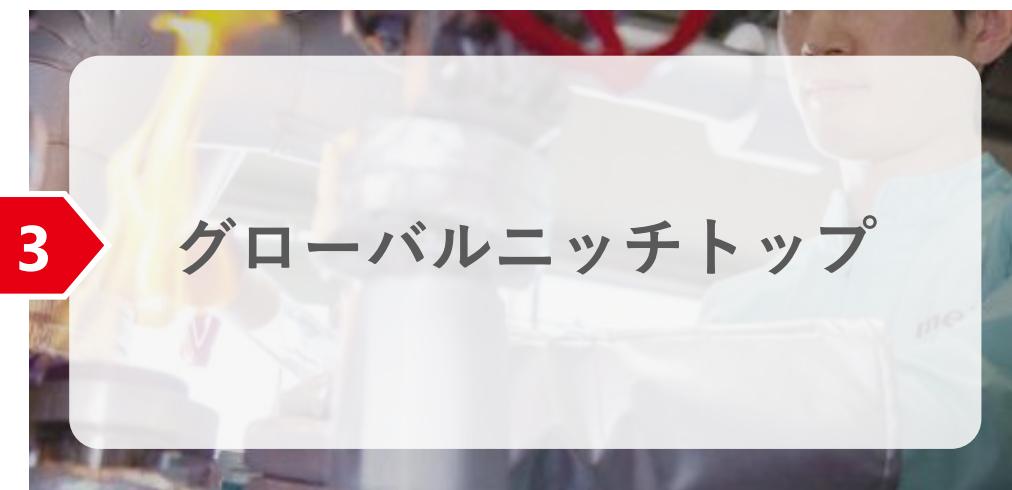
福岡工場



1
先駆的な取り組みにより
構築した事業基盤



2
一貫生産による
こだわりの品質と展開力



3
グローバルニッチトップ



4
3つの事業のバランス経営

当社の特徴・強み① 先駆的な取り組みにより構築した事業基盤

meito

- 独創とチャレンジが、事業化や業界標準の確立に貢献



デキストランマグネタイトの工場生産開始

- ・2001年にはMRI用肝臓造影剤が欧州で認可され商業生産を開始する



徳用大袋チョコ発売

- ・大袋市場の嚆矢となる

1992年

1977年

1964年

微生物レンネットを世界で初めて開発

- ・動物レンネットの代替となる微生物レンネット



1959年

粉末ジュースを発売

- ・砂糖に果汁、酸味料、香料、着色料を配合した画期的な商品



1953年

中身の見える個別「捻り包装」

- ・時代を先取りし、製菓業界に包装革命を起こす



代用血漿デキストラン工業化に成功

- ・原薬、医薬品・食品添加物、化粧品、工業用途など幅広く展開



当社の特徴・強み② 一貫生産によるこだわりの品質と展開力

meito

■ 口溶けや滑らかさの食感、味づくりの決め手となる生地で差別化



一貫生産
ならではの
展開力により、
開発に成功

- 気泡を混ぜたチョコレート「エAINチョコ」
- チョコレートの技術を生かした
「栄養食品」
低GI*の糖質「還元麦芽糖」を主
原料としたチョコレート



*GI：食後血糖値の上昇度合

当社の特徴・強み③ グローバルニッチトップ

meito

- 世界屈指のメーカーとして、成長軌道を歩む化成品事業



デキストラン デキストラン誘導体



- 代用血漿デキストラン・MRI造影剤用途としてのデキストランマグネタイトの**工業生産**に成功



- 大規模**な工業生産



チーズ用凝乳酵素 微生物レンネット



世界初

- 動物レンネットの代替となる微生物レンネットを**開発**



世界唯一

- 動物レンネットと同等品質の次世代微生物レンネットを**開発**



脂質関連酵素 リパーゼ・ホスホリパーゼ



- 日本で初めてリパーゼの大規模な**工業生産**を開始



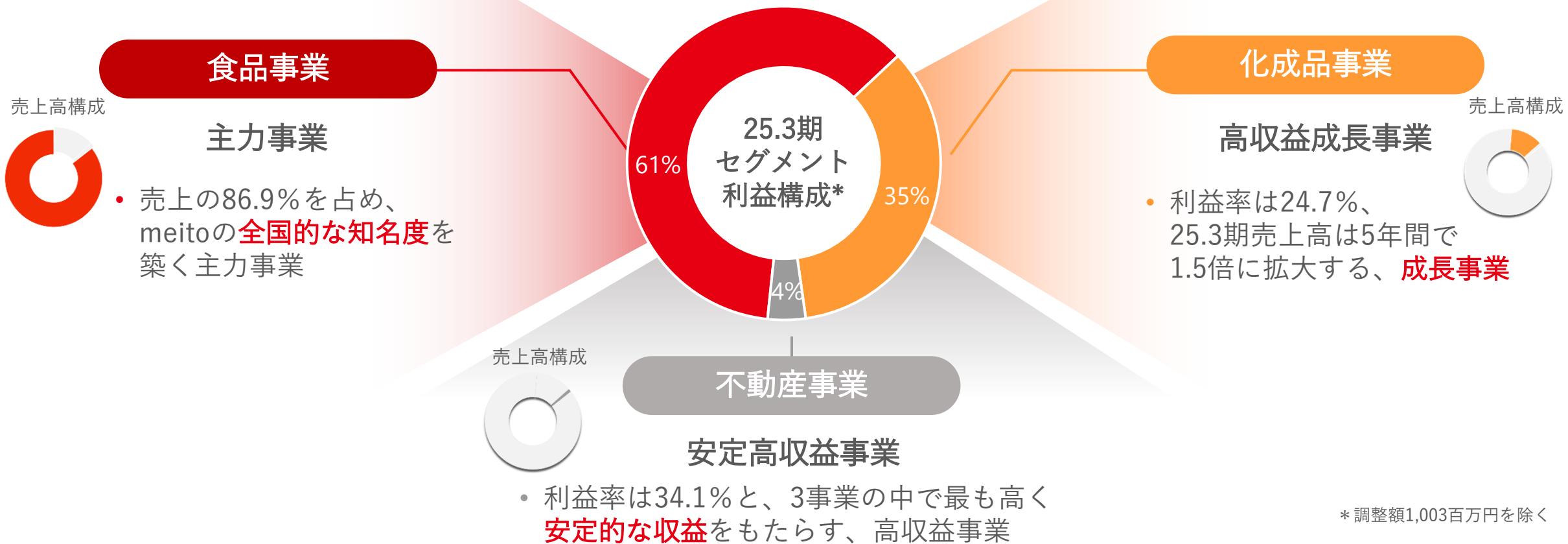
- ホスファチジルセリン*向けのホスホリパーゼDを**工業生産**

*ホスファチジルセリン：脳機能改善やストレス対策のサプリメント

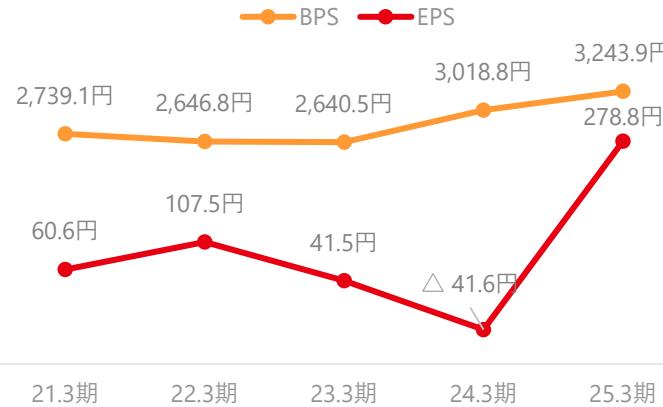
当社の特徴・強み④ 3つの事業のバランス経営

meito

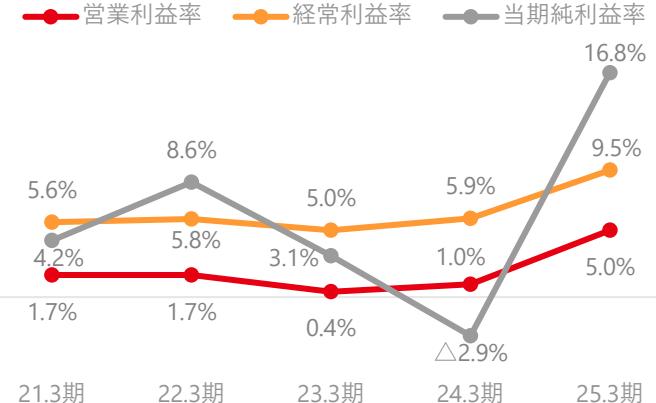
- 事業領域が異なる3つのセグメントが補完し合い、景気変動の影響を回避した安定利益を確保



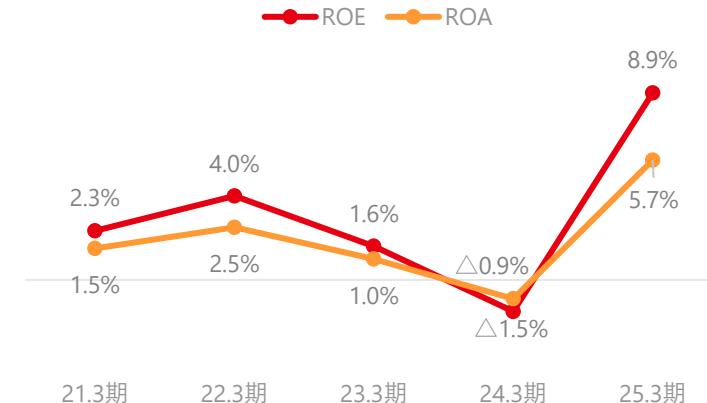
EPS・BPS (単位: 円)



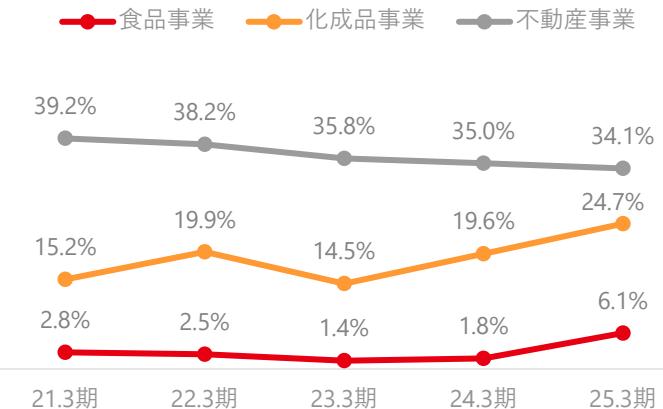
利益率 (単位: %)



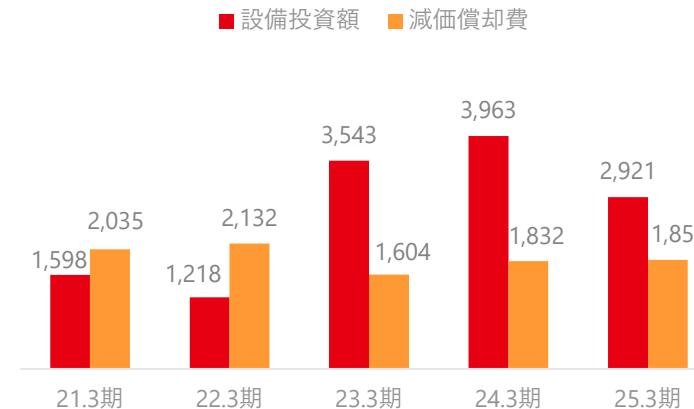
ROE・ROA (単位: %)



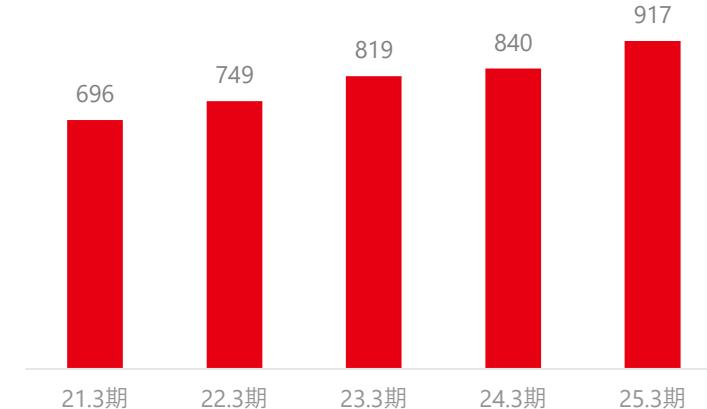
セグメント利益率 (単位: %)



設備投資額・減価償却費 (単位: 百万円)



研究開発費 (単位: 百万円)



各マテリアリティに対する取組み

環境負荷削減

<共通>

- ・省エネ設備への更新
- ・環境に配慮した商品設計
- ・社内書類・提出資料の電子化、ペーパーレス化推進継続
- ・省エネ診断を活用した省エネルギー対策



<食品事業>

- ・包装材料におけるプラスチックおよび紙の使用量の削減
- ・食品工場での食品残渣の削減
- ・フードロス削減に取り組む企業と取引開始

<化成品事業>

- ・廃棄物の有効活用



福岡工場 冷凍機設備更新
(省エネ)



空調機吸排気ファン更新
(省エネ)

食の安全安心

<食品事業>

- ・FSSC22000の運用による品質維持
- ・「おいしさ、たのしさ、健康」を追求した商品の開発
- ・食品の安全や品質文化の醸成の活動



<化成品事業>

- ・FSSC22000・医薬品および医薬部外品の製造管理および品質管理規則（GMP）の認証維持
- ・ハラール（イスラム教）、コーチャ（ユダヤ教）の認証維持

健康貢献目標

健康とおいしさを両立して、お客様のお困りごとを解決した新商品を2025年度から2030年度までに5品以上発売



おいしく健康応援
カフェオレ
(健康貢献)



おいしく健康応援
のど飴ブルーベリー
(健康貢献)

各マテリアリティに対する取組み

人権・ダイバーシティの推進



<共通>

- ・ダイバーシティフォーラムの開催
- ・男性育児休業取得のための社内制度活用の推進
- ・障がい者雇用の推進
- ・eラーニングによるハラスメントの全社員教育



ロールモデル座談会の様子
(2025年3月対面・Web開催)



社会貢献活動



<共通>

- ・「人道支援機関の運営支援のため、国連WFP (World Food Programme) 協会の評議会に入会
- ・名古屋市西区に本社のある菓子会社5社で昨年に引き続きハロウィンイベントを開催
- ・共同募金会を通じて児童養護施設などへのチョコレート寄贈
- ・フードバンクへの商品寄贈
- ・子ども食堂支援のため、イベントの企画・運営を実施

カカオ豆の生産地支援の取り組み



ガーナの小学校への学用品の寄付活動

ガバナンス



<共通>

- ・取締役会の定期開催 (2024年度は8回開催)
- ・指名・報酬委員会の定期開催 (2024年度は4回開催)
- ・コンプライアンス委員会の定期開催 (2024年度は1回開催)
- ・サステナビリティ推進委員会の定期開催 (2024年度は2回開催)

商号変更とガバナンス強化の取り組み

■ 商号（社名）変更

株式会社 meito (旧社名：名糖産業株式会社)

■ パーパス制定

カラダもココロも
豊かで楽しい毎日に



わたしたちはおいしさ・たのしさ・健康を追求し、
食品と化成品を通じて世界中の人々を笑顔にしていきます。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、様々な条件・要素によりこの計画や予想数値とは異なる結果になることがあります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

株式会社meito IR担当
E-mail: ir@meito-abc.co.jp